



## 箱根町記者発表資料

### 富士箱根伊豆国立公園箱根地域における 「ペットボトル水平リサイクルの実施に関する協定」を締結 箱根町 × サントリーグループ

箱根町（神奈川県足柄下郡箱根町／町長：勝俣 浩行）、サントリーホールディングス株式会社（東京都港区／社長：新浪 剛史 以下「サントリー」）及びサントリー食品インターナショナル株式会社（東京都港区／社長：齋藤 和弘）の3者は、7月25日(月)に「ペットボトル水平リサイクルの実施に関する協定」を締結しました。本協定は、使用済みペットボトルを原材料として新たなペットボトルを製造することで、持続性のある資源化、適正処理の推進及び二酸化炭素排出量の削減を図ることを目的としたものです。

なお、ペットボトルの分別排出の更なる徹底を図るために、環境省関東地方環境事務所富士箱根伊豆国立公園管理事務所及び箱根 DMO（一般財団法人箱根町観光協会）と連携して、町内事業所等における透明リサイクルボックスの設置を促進し、この取組に協力していただける方々と共にペットボトルのまわり続けるリサイクルの実現に向けて取り組んでまいります。



左：勝俣浩行町長、右：小野真紀子常務執行役員

箱根町は、ほぼ全域が富士箱根伊豆国立公園に指定されており、環境先進観光地一箱根としても、地球規模での環境問題解決に向け取り組むとともに、恵まれた自然環境を保全し、持続可能な社会の実現を目指しています。

サントリーは、国立公園のオフィシャルパートナーであることから、本協定を締結したものであり、同社は2030年までにリサイクル素材と植物由来素材に100%切り替え、化石由来原料の新規使用ゼロの実現を目指しています。

本協定の締結によりペットボトルを確実に水平リサイクルできるルートを確立し、また、透明リサイクルボックスの設置により、町民や事業者、町を訪れる人々に水平リサイクルを実践していただき、日本全体のプラスチック資源循環の意識向上を期待するものです。

## 小野真紀子常務執行役員コメント

この度は、箱根町様とサントリーグループとの協定締結ができましたことを、大変光栄に存じます。

本協定により、箱根町様と協働し、富士箱根伊豆国立公園箱根地域におけるペットボトルの水平リサイクル、分別回収の啓発活動を強化していきます。

箱根町様は、環境基本計画に脱炭素、資源循環をうたい、「未来へつなぐ、環境にやさしいまち」の実現を掲げており、サントリーグループも「人と自然と響き合う」を使命に掲げ、多様性ある社会や美しい地球環境との共生を常に念頭に置き、持続可能な社会の実現を目指してきました。その中で「プラスチック基本方針」を掲げ、2030年までに化石由来原料の新規使用ゼロを目指しています。

ペットボトルもリサイクルによって再びペットボトルに戻して利用することで、化石燃料の使用を減らすとともに、循環型社会の実現を、箱根町を訪れる方を含めた、箱根町の皆様と一緒に目指してまいりたいと考えております。

## 勝俣浩行町長コメント

この度は、サントリーグループ様と箱根町が連携と協力のもと、協定を締結することになり大変嬉しく思っております。

本町ではこれまで、環境センターに搬入されたペットボトルは食用品トレイや衣類などの原料にリサイクルされてきましたが、本協定を締結させていただくことにより、本町の家庭や事業所から排出されるペットボトルが、サントリー様の飲料ボトルとして再び全国の家庭や事業所に還るという、非常に分かりやすい循環により、町民・事業者・町を訪れる人々の環境意識が高まるものと期待しております。

また、本協定を機に、ペットボトルの分別排出の徹底について、透明リサイクルボックスの設置等を通じて啓発を図り、環境省関東地方環境事務所富士箱根伊豆国立公園管理事務所様、箱根 DMO（一般財団法人箱根町観光協会）様のご協力のもと本取組みにご賛同いただける皆様と協働して、まわり続けるリサイクルの実現に向け取組んでまいります。

## 千葉康人所長コメント

今回のペットボトル水平リサイクルや分別回収強化の取組みは、脱炭素や SDGs に貢献するだけでなく、国立公園の環境美化やゴミのポイ捨て削減にも繋がる素晴らしい取組みです。本年3月に策定した国立公園満喫プロジェクト・ステップアッププログラムの中にも位置付けられた取組みであり、富士箱根伊豆国立公園管理事務所としても箱根を訪れる観光客の皆様や地域関係者との協働により積極的に進めてまいります。

### 【サントリーグループ】

1899年創業 飲料などの食品事業、ビール・スピリッツ・ワインなどの酒類事業、健康食品・外食・花などのその他事業をグローバルに展開しています。

サントリーグループは、「Growing for Good」の志のもと、2019年に「サステナビリティ・ビジョン」を制定し、水資源の保全や温室効果ガス（GHG）排出削減、資源の循環利用促進などの地球環境保全、そして、サプライチェーンにおける人権の尊重や人々の心豊かで健康な生活への貢献等にグループ一丸となって取り組んでいます。

プラスチックにおいても、2019年に「プラスチック基本方針」を掲げ、2030年までにグローバルで使用するすべてのペットボトルに、リサイクル素材あるいは植物由来素材のみを使用することで、化石由来原料の新規使用をゼロにすることを目指しています。

このニュースリリースに関するお問い合わせは以下の担当までお願いします。

箱根町 環境整備部 環境課環境政策係 担当 幸本

Tel: 0 4 6 0 - 8 5 - 9 5 6 5